

末長い交流の架け橋として

那覇市・福州市友好都市締結20周年記念事業「日中友好の翼」

那覇市と福州市が友好都市の締結をしてから今年で20年。その節目を祝うべく、翁長市長を団長とする160人の大訪問団が11月21日から25日の日程で福州市をはじめとする中国各地を訪れました。福州の地に降り立った訪問団を待っていたのは聞きしにまさる福州市の熱烈歓迎ぶり。福州市滞在中の3日間、公式訪問団はどこを訪れてもまさに国賓級のもてなしをうけました。

全行程を通じて大変意義深い交流がなされましたが、今回の公式行事のなかでもハイライトは2日目の晩に開かれた那覇市・福州市の合同祝賀会。友好の証として記念品を交換し、「21世紀に向けた友好都市促進」に関する合意書の調印で両市の更なる交流の発展を確認いたしました。また、福州市内にある金牛山公園において友好都市締結20周年の記念として桜の木4本を植樹しました。

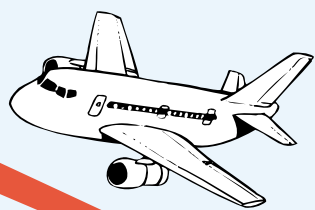
(平和と国際交流室)



「21世紀に向けた友好都市促進」の合意書に調印後、かたい握手を交わす翁長那覇市長と練福州市長



友好の架け橋となった訪問団のみなさん。



那覇



のんびりゆっくり散歩や買物が楽しめる福州步行街（歩行者専用道路）



公園は市民のコミュニケーションの場。早朝からおおぜいの人々が社交ダンスを楽しんでいました（西湖公園）



川面に映る、いにしえと現在の福州市の姿（西湖公園）